

### 付属資料 3. 専門職分野への女性の参画

専門職分野として、本章に述べた教育職、研究職の他に、医師、看護師、メディア団体役員における女性の参画状況を調査した。

#### 1. オランダ

##### (1) 専門職分野における女性の参画の実態

###### ①医師

オランダにおける医師の女性比率は 40.4% (2000) であり、継続して増加傾向にある。

図表 付 3-1 医師における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性医師数 (人)	医師総数 (人)
1973	15.2	2,300	15,100
1979	18.7	3,500	18,700
1990	30.3	10,000	33,000
2000	40.4	25,243	62,519

出典 : ILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex"の"Physicians、Health professionals (except nursing) (2000) " <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>

###### ②看護師

オランダにおける看護師の女性比率は 75.6% (2000) であり、他の職業と比べて高い割合を占めている。

図表 付 3-2 看護師における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性看護師数 (人)	看護師総数 (人)
1973	81.4	27,600	33,900
1979	80.6	49,800	61,800
1990	82.2	106,000	129,000
2000	75.6	45,350	60,017

出典 : ILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex"の"Professional nurses (certificated) Nursing and midwifery professionals(2000)" <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>

### ③メディア

オランダにおいて、メディアに携わる女性比率は4割程度であり、継続して増加傾向にある。

図表 付3-3 メディアにおける女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性メディア数 (人)	メディア総数 (人)
1973	16.3	1,500	9,200
1979	21.1	2,600	12,300
1990	43.3	13,000	30,000

出典：ILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex"の"Journalists, reporters, commentators and the like" <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>

また、メディアにおける女性役員比率としては、オランダのメディアの中心機関であるオランダ放送協会Nederlandse Omroep Stichting (NOS) の例が参考となる。NOS<sup>a</sup>は、1947年に設立したオランダ・ラジオ連合 (NRU) と、1956年に設立したオランダ・テレビ協会 (NTF) が1967年に合併したオランダの公共テレビ・ラジオ局である。現在NOSの全役員11名のうち、女性役員は2名である。

#### (2) 専門職分野への女性の参画に関する取組

オランダの病院等の医療機関ではシフト制を取り入れており、子供がいる女性でも、夜勤や週末等、家庭と両立できるようなシフトを選びパートタイム労働を行うことにより、看護師等の専門分野に参画している。

#### (3) 今後の課題

上述のとおり医療機関ではシフト制が採られているが、医師はパートタイム労働を選択することができない。今後専門職分野の女性の参画を促進するためには、制度面からも支援策が必要と考えられている。

<sup>a</sup> NOS のウェブサイト <http://www.nos.nl/nos/voorpagina/>

## 2. ノルウェー

### (1) 専門職分野における女性の参画の実態

#### ①医師

ノルウェーにおける医師の女性比率は 41.2% (2007) であり、継続して増加傾向にある。

図表 付 3-4 医師における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性医師数 (人)	医師総数 (人)
1970	13.0	682	5,245
1980	17.3	1,472	8,497
1990	24.1	2,577	10,708
...	...	...	...
2006	40.0	6,000	15,000
2007	41.2	7,000	17,000

出典: 1970～1990 年は ILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex" の "Head physicians～Other Physicians" <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>  
 2006・2007 年は Statistic Norway "Employed persons, by sex and occupation(4th digit in the code) (LFS). Annual average 2006 and 2007" の "Medical doctors" [http://www.ssb.no/yrkeaku\\_en/tab-2008-02-18-03-en.html](http://www.ssb.no/yrkeaku_en/tab-2008-02-18-03-en.html)

#### ②看護師

ノルウェーにおける看護師の女性比率は 92% (2007) であり、他の職業と比べて非常に高い割合を占めている。

図表 付 3-5 看護師における女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性看護師数 (人)	看護師総数 (人)
1970	92.4	45,538	49,265
1980	92.7	107,425	115,902
1990	92.8	130,740	140,917
2006	91.5	65,000	71,000
2007	92.0	69,000	75,000

出典: 1970～1990 年は ILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex" の "Nursing care" <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>  
 2006・2007 年は Statistic Norway "Employed persons, by sex and occupation(4th digit in the code) (LFS). Annual average 2006 and 2007" の "Nursing and midwifery professionals" と "Nurses" の計 [http://www.ssb.no/yrkeaku\\_en/tab-2008-02-18-03-en.html](http://www.ssb.no/yrkeaku_en/tab-2008-02-18-03-en.html)

### ③メディア

ノルウェーにおいて、メディアに携わる女性比率は5割であり、継続して増加傾向にある。

図表 付 3-6 メディアにおける女性比率の推移

年	女性比率 (%)	女性数 (人)	メディア総数 (人)
1970	17.5	506	2,886
1980	29.6	1,153	3,890
1990	38.2	2,179	5,705
...	...	...	...
2006	50.0	6,000	12,000
2007	50.0	7,000	14,000

出典: 1970～1990年はILO Laborstat "Employment for detailed occupational groups by sex" の "Editors and journalists etc." <http://laborsta.ilo.org/cgi-bin/brokerv8.exe>  
2006・2007年はStatistic Norway "Employed persons, by sex and occupation(4th digit in the code) (LFS). Annual average 2006 and 2007" の "Journalists and information associate professionals" [http://www.ssb.no/yrkeaku\\_en/tab-2008-02-18-03-en.html](http://www.ssb.no/yrkeaku_en/tab-2008-02-18-03-en.html)

ノルウェーのメディア業界は、最大手のシブステッド (Schibsted) を筆頭に、アー・プレッセン (A-pressen)、産業コングロマリットのオルクラ (Orkla) という3つの大手メディア・グループが支配している。

オルクラはイギリスのメコン・グループ (Mecom Group Plc) の傘下に入っているため、ここではシブステッドとアー・プレッセンを参考にする。シブステッドの女性役員比率は50%<sup>b</sup>であり、アー・プレッセンについては、役員9名中5名(56%)が女性、7名の経営層のうち2名が女性である。また、アー・プレッセンのジェネラルマネージャーの女性比率は13.6%<sup>c</sup>である。

#### (2) 専門職分野への女性の参画に関する取組

ノルウェーには、専門職分野への女性参画を支援するような特別な政府プログラムはない。しかしながら同国の専門職における女性の比率は、看護師が9割以上であるのをはじめ、医師やメディア関係者についても、それぞれ4、5割以上となっており、その割合は年々増加している。オスロ大学では、2002年に医学部の女子学生の割合が全体の5割を超えたこともあり、専門職女性を教育する体制は整ってきたと考えられる。

#### (3) 今後の課題

今後も専門職分野の女性が継続して社会で活躍するためには、育児支援等の支援体制や、女性が専門職分野で男性と平等に昇進できるような仕組みの整備を継続して行うことが重要と考えられている。

<sup>b</sup> Schibsted Annual Report 2007.

<sup>c</sup> A-pressen Annual Report 2007.

### 3. シンガポール

#### (1) 専門職分野における女性の参画の実態

##### ①医師

シンガポールにおける医師の女性比率は、28.4%である。

図表 付 3-7 医師における女性比率（1947-2007 年の登録総数）

女性比率 (%)	女性医師数 (人)	医師総数 (人)
28.4	2,163	7,611

出典：Tan, 2007 <http://www.asiaone.com/Business/Office/Hot%2BJobs/Story/A1Story20070911-25014.html>

シンガポール国立大学医学部卒業生における女性比率は 2007 年現在 36.6%であり、過去 10 年で 9%上昇している。

図表 付 3-8 シンガポール国立大学医学部卒業生における女性比率の推移

年	女子比率 (%)	女子学生数 (人)	学生総数 (人)
1997	27.2	40	147
2002	33.0	60	182
2003	34.0	66	194
2004	38.7	77	199
2005	41.1	86	209
2006	41.0	94	229
2007	36.6	83	227

出典：Singapore Department of Statistics, *Yearbook of Statistics Singapore, 2008*

## ②看護師

シンガポールにおける看護師の女性比率は、約92%である。推移をみても、ほとんど変化はない。

図表 付3-9 看護師（Registered Nurse）女性比率の推移

年	女性看護師数 (%)	男性看護師数 (%)	看護師総数 (人)
2001	11,830 (92.2)	998 (7.8)	12,828
2002	12,288 (92.3)	1,020 (7.7)	13,308
2003	12,687 (92.3)	1,053 (7.7)	13,740
2004	13,076 (92.3)	1,095 (7.7)	14,171
2005	13,643 (92.0)	1,188 (8.0)	14,831
2006	14,221 (92.0)	1,231 (8.0)	15,452
2007	15,141 (91.7)	1,363 (8.3)	16,504

出典：Singapore Nursing Board *Annual Report 2007*

## ③メディア

シンガポールのラジオ・テレビ放送界における役員の女性比率<sup>d</sup>としては、同国の放送業界をほぼ独占するMediaCorp社の役員の女性比率が参考になる。同社は、1965年ラジオテレビジョン・シンガポールとして設立され、現在は政府系投資会社Temasek Holdingsの100%子会社である。テレビを8局（独占状態）、ラジオを14局（他局は4局あるのみ）運営している。2008年現在、同社の役員における女性比率は、36.4%である。

図表 付3-10 MediaCorpにおける女性役員比率（2008年）

女性比率 (%)	女性役員数 (人)	役員総数 (人)
36.4	4	11

出典：MediaCorp社ウェブサイト [http://www.corporate.mediacorp.sg/press\\_release/pr\\_1224575320.htm](http://www.corporate.mediacorp.sg/press_release/pr_1224575320.htm)

<sup>d</sup> シンガポールのメディア界はほぼ1社独占状態であり、業界団体の存在は不明。

シンガポールの新聞業界における役員の女性比率として、同国の出版業界をほぼ独占する Singapore Press Holding Ltd 社の女性比率が参考になる。同社は 1845 年創刊の The Straits Times を含む新聞 17 誌ならびに 100 以上の雑誌を英語、中国語、マレー語、タミール語の 4 ヶ国語で発行する上場企業である。同社の役員の女性比率は 0% であり、1998 年まで遡っても役員職に女性が就任したことはない。

メディアといっても事業の対象によって、女性参画の状況がまったく異なることがわかる。

図表 付 3-11 Singapore Press Holding Ltd における女性役員比率 (2008 年)

女性比率 (%)	女性役員数 (人)	役員総数 (人)
0	0	10

出典 : Singapore Press Holdings Ltd. *Annual Report 2008*

### (2) 専門職分野への女性の参画に関する取組

雇用機会はすべて個人の能力に基づいて与えられるべきとの方針から、専門職分野における女性を支援するための政府の取組はない。シンガポールの専門職<sup>e</sup>における女性の比率は、過去 10 年にわたりほぼ 40% を維持しており、女性の労働力が全体の 4 割であることを考慮すると、適正な雇用状況といえる。

この分野において特筆すべきことは、医学分野における女性差別的制度が廃止されたことである。シンガポール唯一の総合大学であるシンガポール国立大学の医学部では、女子学生に対する入学制限が 1979 年より導入されていた (Tambyah, 2005)。医学教育は高コストであるにもかかわらず、女性は卒業しても医者にならないケースがあり、また医者になっても男性よりも離職率が高いという理由から、女子学生の割合を 3 分の 1 とする上限が設けられていたのである。

しかし、シンガポール保健省は医者不足の解消を優先課題と認識するようになり、医学部の定員数そのものも過去 10 年間に 150 名から 230 名に増加している。こうした動きに伴って、女子学生に対する入学制限も 2002 年に撤廃され、現在では女子学生比率は 4 割近くまで上昇している。

### (3) 今後の課題

医学へ進む女性は増えているものの、専門分野によって医師の性別の偏りが非常に激しいという事実がヒアリング<sup>f</sup>により指摘された。例えば小児科には女性医師が多いものの、心臓外科や脳外科には女性医師が少ないという傾向である。この偏りを解消するには、相当の時間が必要と思われる、専門分野別のジェンダーバランスの適正化が今後の課題として残されている。

<sup>e</sup> シンガポール標準職業分類 2005 は「専門職 (Professionals)」を物理・数学・工学、生命科学・保健、教育、ビジネス、法律、その他 (社会科学、芸術、宗教等) の分野の専門職に分類する。 *Report on Labour Force in Singapore 2008*.

<sup>f</sup> ヒアリングを行った SCWO の会長は、医師でもある。

#### 4. アメリカ合衆国

##### (1) 専門職分野における女性の参画の実態

###### ①医師

合衆国における医師の女性比率は、30%である。過去 10 年間の推移を見ると、微増傾向にある。

図表付 3-12 医師における女性比率の推移

年	女性(%)	医師総数(千人)
1998	26.6	740
1999	24.5	720
2000	27.9	719
2001	29.3	761
2002	30.6	825
2003	29.9	819
2004	29.4	830
2005	32.3	830
2006	32.2	863
2007	30.0	888

出典：U.S. Bureau of Labor Statistics, Labor Force Statistics from the Current Population Survey, Household Data, Annual Averages, Table 11 "Employed persons by detailed occupation, sex, race, and Hispanic or Latino ethnicity" (1998～2007) "Physicians and surgeons"  
<http://www.bls.gov/cps/cpsa1998.pdf>

注：国勢調査職業分類変更に伴い 2003 年以降使用分類定義が異なる。  
(1998 年～2002 年) 「Physicians」、(2003 年～2007 年) 「Physicians and surgeons」



②看護師

合衆国における看護師の女性比率は、9割を超えている。過去10年間の推移を見ても、ほとんど変化はない。

図表 付3-13 看護師における女性比率の推移

年	公認看護師 女性比率(%)	公認看護師総数 (千人)	准看護師 女性比率(%)	准看護師総数 (千人)
1998	92.5	2,032	96.0	381
1999	92.9	2,128	95.1	357
2000	92.8	2,111	93.6	374
2001	93.1	2,162	94.3	374
2002	92.9	2,311	94.9	382
2003	92.1	2,449	94.8	531
2004	92.2	2,464	94.3	517
2005	92.3	2,416	93.4	510
2006	91.3	2,529	94.2	556
2007	91.3	2,529	93.2	533

※国勢調査職業分類変更に伴い2003年以降使用分類定義が異なる。

(1998年～2002年) 「Registered nurses」及び「Licensed practical nurses」

(2003年～2007年) 「Registered nurses」及び「Licensed practical and licensed vocational nurses」

出典：U.S. Bureau of Labor Statistics, Labor Force Statistics from the Current Population Survey, Household Data, Annual Averages, Table 11 "Employed persons by detailed occupation, sex, race, and Hispanic or Latino ethnicity" (1998～2007)  
<http://www.bls.gov/cps/cpsa1998.pdf>

### ③メディア

アメリカ合衆国のメディアにおける女性管理職比率は、テレビでは 16.3%、ラジオでは 25.4%、新聞では 24.0%である。

図表 付 3-14 メディアにおける女性管理職比率の推移

年	テレビ (%)	ラジオ (%)	新聞 (%)
2003	13.9	11.0	22.0
2004	12.1	13.4	22.0
2005	17.0	20.9	23.0
2006	15.2	12.2	23.0
2007	15.8	20.3	23.0
2008	16.3	25.4	24.0

出典：(テレビ・ラジオ) The Radio-Television News Directors Association (RTNDA)/ Hofstra University Survey, 「Broadcast news general managers, Percent women」  
<http://www.rtna.org/pages/research/women-and-minorities.php>  
 (新聞) Newsroom Employment Census, The American Society of Newspaper Editors, Table N “Percentage distribution of men and women in job categories” 「Supervisors」  
<http://www.asne.org/index.cfm?id=5661>

メディアの団体は複数存在するが、ここでは全米放送事業者連盟 (National Association of Broadcasters) と米国新聞協会 (Newspaper Association of America) における女性の参画状況を例として挙げる。前者は 1922 年に設立された放送業界団体で、全米 8,300 のテレビ・ラジオ局/放送網が所属している。後者は 7 つの事業者団体が合同して 1992 年に設立した非営利団体であり、北米の 2,000 紙が所属している。

役員における女性の比率はテレビ・ラジオ部門ともに 17%、米国新聞協会の役員の女性比率は 14%である。

図表 付 3-15 メディア事業者団体における女性役員比率 (2009 年)

全米放送事業者連盟		米国新聞協会 (%)
テレビ (%)	ラジオ (%)	
4 人 (17.0)	6 人 (17.0)	3 人 (14.0)

出典：  
 (テレビ) 全米放送事業者連盟 (National Association of Broadcasters)  
<http://www.nab.org/AM/ASPCode/BoardLists/TVBoardMembers.asp>  
 (ラジオ) 全米放送事業者連盟 (National Association of Broadcasters)  
<http://www.nab.org/AM/ASPCode/BoardLists/RadioBoardMembers.asp>  
 (新聞) 米国新聞協会 (Newspaper Association of America) BusinessWeek.com Company Information に掲載の役員名簿を基に算出  
<http://investing.businessweek.com/research/stocks/private/board.asp?privcapId=771967>

## (2) 専門職分野への女性の参画に関する取組

### ①医師、看護師

医学分野においては、米国医師会の女性医師会（American Medical Association, Women Physicians Congress: WPC）が様々な取組を行っている。WPCはワーク・ライフ・バランスを重視し、パートタイム労働やワークシェアリング等に関する情報提供、労働環境の実態調査を行っている。さらに、女性医師の増加に資する研究へ奨学金も給付している。

女性が主流である看護分野においては、男性の参画に関する取組が行われている。全米看護学生連盟（National Student Nurses Association）は、男性看護師を対象とした調査を行っている。その中で、男性を看護分野に参画させるには、看護は女性の仕事というステレオタイプを払拭し、看護師の募集広告に男女区別の無い言葉を用いること、雇用の安定性を強調すること、高いレベルのスキルが要求されることを強調すること等が有効との提言<sup>g</sup>を行っている。

さらに、民間の女性団体 Catalyst は様々な分野におけるジェンダー問題を調査して結果を公開している。報告（2008）によると、研究医学の分野において女性は男性に比べて終身雇用の地位を得にくく、すべての職位で女性の占める割合は低い。また、医学研究にかかわるすべての分野において、男女の収入格差が存在する。看護分野では、女性は男性に比べて昇進しやすいものの、女性は男性に比べて収入が低いという結果が報告されている。

### ②メディア

メディア業界においては、非営利団体や企業などさまざまな組織が女性の参画を促進すべく取組んでいる。スポーツメディア女性連盟（The Association for Women in Sports Media）<sup>h</sup> やコミュニケーション女性連盟（The Association for Women in Communications）<sup>i</sup> では、メディア分野への就職を志望する女子学生のために有給のインターンシップ制度や奨学金を提供している。

大手放送網では、対象を女性に限定したものではないが、人材の多様性を促進することを目的として放送作家・ディレクター・俳優などの職業におけるメンター制度やワークショップを導入している<sup>j</sup>。また、ジャーナリストを志望するマイノリティのための実習制度も導入している<sup>k</sup>。

女性の管理職への進出を促進するための取組として、国際女性メディア財団米国リーダーシップ研究所（International Women's Media Foundation, U.S. Leadership Institute）<sup>l</sup> では、女性の管理能力の向上を目指して、経験豊かな女性管理職が管理スキルを指導するフォーラム等を開催している。

---

<sup>g</sup> NSNA ウェブサイト [http://www.nсна.org/pubs/imprint/novdec05/imp\\_nov05%20breakthrough.pdf](http://www.nсна.org/pubs/imprint/novdec05/imp_nov05%20breakthrough.pdf)

<sup>h</sup> スポーツメディア女性連盟はスポーツメディアにおける女性進出促進を目指す非営利団体である。ウェブサイト <http://www.awsmonline.org/about.html>

<sup>i</sup> コミュニケーション女性連盟ウェブサイト <http://www.womcom.org/matrix/matrix.asp>

<sup>j</sup> CBS ウェブサイト [http://www.cbcorporation.com/diversity/cbs\\_network/institute/index.php](http://www.cbcorporation.com/diversity/cbs_network/institute/index.php)

<sup>k</sup> NBC ウェブサイト <http://www.nbcunicareers.com/about/diversity.shtml>

<sup>l</sup> IWMF ウェブサイト <http://www.iwmf.org/categorydetail.aspx?c=institutes#us>

### (3) 今後の課題

医療分野においては医師のワーク・ライフ・バランスの可能性、看護師のジェンダーバランスなど、男女共により良い労働環境を創出していくことが今後の課題とされている。

メディアにおいては、女性の参画を支援するさまざまな取組が既に実施されているものの、今後、より多くの女性がリーダー的地位に就いて発言力を増していくことが課題と考えられている。